

晴海選手村土地投げ売りを正す会総会

2017年7月26日(水) 江東区文化センター



住民監査請求の監査結果を報告する千葉景子弁護士

晴海選手村土地投げ売りを正す

住民監査請求棄却

異例の「意見」付される

晴海オリンピック・パラリンピック選手村整備を名目に、都有地を大手開発業者に

社に相場の10分の1という超安値で譲渡したのは違法かつ不当だと都に是正を

求めた住民監査請求に対し7月19日監査委員は、「請求人の主張には理由がない」として棄却しました。

7月26日、「晴海選手村土地投げ売りを正す会」は、江東区文化センターで総会を開き、監査結果の報告を受け、住民訴訟提起について意思統一を行いました。

「正す会」会長の臨海都民連代表世話人・中野幸則さんの主催者挨拶のあと千葉景子弁護士が、全文78ページに及ぶ監査結果をコンパクトに要点をまとめたレジメに従い報告しました。

監査結果は却下という不当なものですが、異例の「意見」が付記されました。

臨海かわら版

〈発行〉

臨海部開発問題を考える都民連絡会

第134号

このような意見がいつたのは、こちらの主張が当然あり得る主張だと調査委員が感じたからに他なりません。従って、調査委員は、こちらの主張に沿った一定の調査を、都市整備局、国土交通省、オリエンティック・パブリック・準備局などに行っています。「意見」は次のように言っている点を鋭く指摘したもので、不正が隠蔽される危険性にたこのような意見の付記は、極めて異例。問題の本質が、都政と大企業の癒着によりある点を鋭く指摘したもので、不正が隠蔽される危険性にたこのあと住民訴訟について提案した淵脇みどり弁護士は、「ここまで指摘している、監督請求を認めないのは矛盾している。意見は訴訟をたたかう足がかりになると訴訟の展望を語りました。

8月17日(木)住民訴訟提起 司法記者クラブで記者会見

9日江東区内で原告団総会を開催し、淵脇弁護士が住民訴訟の骨子を説明、17日11時に訴状を東京地裁に提出することを決めました。17日当日の行動を以下の通り展開し、広く都民にアピールしていくことになりました。本紙が読者のみなさんへ届くころには行動は終わりますが、参加された方、ご苦労さまでした。

◆10時50分地裁前集合、◆11時訴状提出、◆11時～11時30分地裁前で横断幕を掲げビデオ配布、ハンドマイク宣伝◆11時30分～司法記者クラブで記者会見

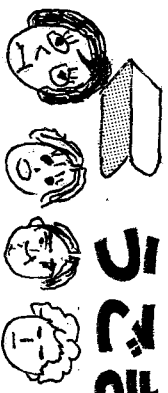
市川事務局長が動画に

24日15時～17時、インデペンダント・ウエブ・ジャーナルからインタビュを申し込ませたい。

- 8・16 臨海都民連第9回世話人会 (東京自治労連)
- 8・9 臨海かわら版編集会議 (江東区文化センター)
- 8・9 「晴海・正学生会」住民訴訟原告団結成総会 (江東区文化センター)
- 8・8 市場移転反対パレード (筑波大付属駒場高校)
- 8・8 実行委員会 (東中労)
- 8・6 地理教育研究会関東大会・臨海開発問題講演 (法大二高)
- 8・5 歴史教育者協議会全国大会分科会・臨海開発問題講演 (江東区文化センター)
- 7・26 「晴海選手村土地投げ売り」を正学生会 (総会) (江東区文化センター)
- 7・22 臨海部問題・中央区の運営委員会 (東京地評)
- 7・18 オリ・パラ都民の会 請求関係者現地調査
- 7・14 晴海選手村・住民監査請求関係者現地調査

◆主な活動記録◆

臨海都民連の うごき



都民フアースト・小池チャルペン
新議員へ質問は厳禁です?!